



目次 -Contents-

1	会長・各支部長より新年のごあいさつ	2
2	講習会・講演会情報	6
3	法律顧問弁護士による 無料法律相談のご案内	8
4	女性部会より見学会のご案内	8
5	福岡県内高等学校生並びに専門学校生 による建築設計競技 結果報告	9
6	常任理事会のご報告	15
7	各支部よりお知らせ	16
8	会 員 動 静	20
9	訃 報	20
10	役員さんの徒然雑記	21
11	事務局よりお知らせ	22

1

会長・各支部長より新年のごあいさつ

会長 井上 精二



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

平素は当協会の事業活動に対し格別のご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

福岡県建築士事務所協会は昨年4月1日より一般社団法人に移行し、また5月には役員改選が行われ大きく組織が変わりました。また通常総会においては、急激に悪化した財務の改善のため、会員の皆様にご理解いただき会費の値上げ改定を行いました。現在のところ収入の増加により財務の改善に繋がっていますが、今後はより一層会員サービスの向上を図り会員にメリットのある協会を目指すとともに事業の見直し、組織の合理化等中長期的な財務の安定について検討していきたいと考えております。

昨年の事業活動を振り返ってみますと4月より、福岡県より委託を受け新規に6名を雇用し、県内の医療・福祉施設防火戸等緊急調査業務を実施しております。今年3月末までの事業となりますが各支部の皆様のご支援、ご協力により約2000件の調査を完了する予定となっています。また恒例の建築士事務所キャンペーンでは福岡支部の主管によりプロポーザルコンペから実現までのプロセスをテーマに講演会を実施し、盛会裏に終了いたしました。講習会関係では、建築士事務所の管理研修会が2月に福岡県知事の指定となりました。また隔年実施されている住宅金融支援機構の適合証明技術者登録は今回、既存住宅現況検査技術者登録と合わせて行い、多くの方に登録をいただきました。その他各種講演会の実施、全国大会への参加協力と会員の皆様のお蔭を持ち充実した一年となりました。

さて昨年6月20日に、建築三会共同提案により、自民党建築設計議員連盟の先生方にご尽力いただき建築士法の一部を改正する法律が決議成立しました。今年6月までに施行される予定ですが、その間政省令、告示の改正整備が行われます。当協会では講習会の実施、メール等の情報配信を通じて周知、普及活動を推進し円滑な運用に努めてまいりますので会員の皆様のご協力をお願いいたします。

会長となり半年が過ぎましたが、本年も引き続き会勢拡大を図り、会員の皆様とともにより良い協会となるよう努めてまいりますので、ご支援とご協力を心よりお願い申し上げ年頭の挨拶といたします。





北九州支部 支部長 林 カヅ子

新年明けましておめでとうございます。皆様には心新たに初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。皆様は消費税の値上げの影響いかがでしょうか。建築材料の高騰、人手不足、入札の不落等に、建設業界も頭の痛い問題が絶えません。年末に誕生した新内閣に大いに期待したいところです。

今年度 福岡県建築士事務所協会で受注した「防火戸等緊急調査業務」北九州支部も初めての試みに戸惑いもありましたが、会員の皆様のご協力ですmoothに運営することが出来ました。県本部としても予想した以上に良い結果が得られたことは大変喜ばしい事だと思います。

又今年度発足した「女性部会」が元気に活動を始めました。手探りで始めた「女性部会」の会合でしたが、今年度開催した2回の会合では多くの活躍する女性会員にお会いすることが出来ました。初対面の方々も多かったのですが、親しく意見交換することが出来ました。参加された方々の年齢層も幅広く、若い方は諸先輩の話に興味深く耳を傾けてくれました。頑張る女性の姿に私自身のモチベーションを上げることが出来ました。設計業界、建設業界で活躍する女性のためにできることがあれば、女性部会でやってみようと思っています。私たちが「社会で輝く女性」を目指したいと思っています。

何卒会員の皆様のご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。本年も会員の皆様が健康でご活躍されることを祈念して新年のご挨拶とさせていただきます。



筑豊支部 支部長 古野 章

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様には、心新たに平成27年の初春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年 筑豊支部の支部長を拝命するに当たり、初めてのことであり不安だらけでしたが、本部役員、支部役員の皆様のご指導により何とか職務を遂行しております。防火戸調査業務につきましては支部役員の皆様のご協力により、1月29日に筑豊地区の調査業務の最終日を迎えます。ご協力ありがとうございます。(ちなみに最後は私が責任を持って終わらせます。)

年末、突然の衆議院解散総選挙となりました。争点は、憲法改正・消費税・第三の矢…はて何だったのでしょうか。結果は自民・公明与党の大勝利となりました。安定した日本になるように願っています。さらに法人税減税による給与のアップ、景気回復となることを願いましょう。

建築士法の一部の改正や建築基準法の改正等が平成27年度6月施行となります。特に建築士法の一部の改正は我々設計事務所のみならず、建築主様にも大事な改正となっています。これらに関する講習会、勉強会は本部や各支部で行われることと思いますので、積極的なご参加をお願いします。

本会がより良いものとなるよう皆様と一緒に頑張りたいと思いますので、ご支援ご協力を心よりお願い申し上げます。新年のあいさついたします。





福岡支部 支部長 岩本 茂美

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、お健やかな新年を迎えられましたことと、心よりお慶び申し上げます。

さて、昨年の福岡県建築士事務所協会の活動は、大きく4点でした。

1点目は、アクロス福岡で開催されました事務所協会キャンペーンです。森裕建築設計事務所の森様のご尽力により、(株)日建設計の吉生様から「プロポーザル・コンペから実現までのプロセス」と題しましてのお話を頂戴いたしました。福岡での案件から海外でのプロポまで、実践に即した話を惜しみなくお話いただきました。参加された皆様も熱心に聞かれ、自社に置き換えての質問も飛び交い、今後の各社のレベルアップを期待させるものでした。また、同時に高校生、専門学校生による建築設計競技の表彰式が行われ、将来性のある若者の就職斡旋の機会を設けることができ、有意義だったと考えております。

2点目は昨年引き続き(株)松山建築設計室の松山様を中心とした木造研究委員会です。環・設計工房の鮎川様をお迎えし「木造のいまとこれからを考える」講演会が行われました。

3点目は県本部主体での活動になる(株)Gデザインアソシエイツの西様が中心とした防火戸調査ですが、これは先般の福岡市内の診療所の火災を機に、避難弱者が多く利用している施設の防火戸等が有効に機能できるかを調査しているものです。現在、3,994 施設のうち1,482 施設の調査が終わっていますが、引き続き調査を進め、建物の所有者、管理者の方に施設の防火安全の重要性を再認識いただきたいと思います。

4点目は福岡支部のことではありますが、賛助会員数がいよいよ100社に届くかという勢いだということです。賛助会の活動への理解が進み、ありがたく思います。100社になりましたら、記念として各企業のPR 資料を作成する予定です。

以上、振り返りますと、事務所協会が果たす役割の大きさは、その設立目的に沿い、年々増しているように思います。課題を抱えつつも、私たちが建築設計のプロとして、公共の福祉の増進に寄与する建築文化の健全な発展に資するための活動は、本年もまた忙しいものとなるでしょう。皆様におかれましては、常日頃より、事務所協会での活動にご理解を頂いており、感謝いたしております。各委員会の方々にもご協力を頂き、ありがとうございます。今年もなお一層のご支援を頂戴致したく、宜しく願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様のご健勝とご多幸をお祈りし、新年の御挨拶とさせていただきます。





県南支部 支部長 山田 秀明

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれましてはつつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、大雨の土砂災害や火山の噴火などたくさんの自然災害が日本を襲いました。自然の力とはなんとすごいものかと思ひ知らされるが多かったように思います。地球温暖化も年々進行しているようで、地球環境も私たちが子供だった頃とはずいぶん変わったように思われます。少しでも地球が昔の姿に近づくよう、出来ることをやらねばと思っています。

さて、県南支部でも会員の減少が年々進行しています。何とかこれに歯止めをかけられるよう会員の皆様のご協力をお願いし、楽しく前向きに支部活動を行っていきたくと思っています。

最後になりますが、この新しい年がより佳き年になりますよう心より祈念して年頭の挨拶とさせていただきます。皆さん。今年もよろしくお願ひ致します！一緒に頑張りましょう！！



大牟田支部 支部長 高巣 光男

新年明けましてお目出とう御座います。

昨年末の第47回衆院選は自民党の圧倒的な議席(2/3)で勝利しましたが、投票率の低下(52%)と戦後69年間で47回目の選挙という首相の在任期間の短命さにも何か世相の無関心と目まぐるしさが表れている様です。

又最近の産業界でも石油(出光興産+昭和シェル)・金融(肥後+鹿児島)企業のM&Aが報道されていました。翻って我々の建設業界でも確かに流れが変化しているのかもしれない。

今年6月に土法改正(延300㎡以上の設計・監理の契約努力義務)が行われますが、昨年末(12/18)の国交省有識者会議の内容には驚きを禁じ得ません。「病院・福祉関係・ホテル・商業施設等の床面積が2,000㎡以上の大規模建築の着工を原則認めない。但し国の省エネルギー基準を満たせばその限りではない。2017年度以降の義務化を目指す。」という内容でした。勿論オフィスビルも対象になりますが、2020年以降には300㎡以上の住宅にも適応させるそうです。

あと2年後の法改正でしょうが「光陰矢の如し」であつという間の出来事には変わり有りません。

大牟田市に於いては今年8月に「イコモス」の答申で近代産業遺産が認定されると北九州市同様に見学者で一寸市が潤うかもしれません。

大牟田支部に於いては先ず会員増強です。今年こそは1名でも2名でもと考えて居りますが事務所の高齢化と設計内容による報酬の関係で入会を断られます。何か秘策はないかな？

今年も会員と賛助会員の皆様方の御健勝と御繁栄を祈念致しまして新年の御挨拶に代えさせていただきます。



建築士定期講習・管理建築士講習のご案内

一級・二級・木造建築士定期講習

●平成27年 3月 9日(月) 受付 平成26年12月9日(火)～平成27年2月20日(金)

会場 福岡建設会館7F 【定員200名】

臨時開催

※受付は (公社)福岡県建築士会 にて行います。

●平成27年 3月24日(火) 受付 平成26年11月25日(火)～平成27年3月6日(金)

会場 福岡建設会館7F 【定員200名】

※受付は (一社)福岡県建築士事務所協会 にて行います。

管理建築士講習

●平成27年 3月13日(金) 受付 平成26年11月25日(火)～平成27年2月13日(金)

会場 福岡建設会館7F 【定員50名】

※受付は (一社)福岡県建築士事務所協会 にて行います。

お申込書の配布方法》

- 1. (公財)建築技術教育普及センターのホームページよりダウンロードが可能です。

ホームページ:<http://www.jaeic.or.jp/>

※平成25年度の申込書では受付ができません。必ず平成26年度の申込書をご使用ください。

- 2. (一社)福岡県建築士事務所協会 窓口にて配布いたします。

尚、申込者が定員に達し次第、期間内であっても受付を終了いたします。ご了承ください。

「開設者・管理建築士等のための建築士事務所の管理研修会」のご案内

- 開催日** 平成27年2月4日(水)
- 締切** 平成27年1月30日(金)まで 【定員64名】
- 会場** 福岡建設会館701会議室(福岡市博多区博多駅東3-14-18)
- 受講料**
 - 下記会員……13,000円
 - ・(一社)福岡県建築士事務所協会
 - ・(公社)福岡県建築士会
 - ・(公社)日本建築家協会九州支部
 - 会員以外……16,000円



申込み等の詳細は当協会ホームページをご覧ください : http://www.f-aa.jp/news/kaisetusya_kosyu.html

本研修会は、建築士事務所を運営・管理する上で把握しておくべき重要事項を網羅した内容となっています。5年ごとの事務所登録の更新の機会に合わせて受講することで、業務の適正化や建築物の質の向上等を目指すことを目的としています。

建築士事務所の開設者及び管理建築士の皆様におかれましては、ぜひ本研修会を定期的に受講し、資質の維持向上にご活用下さい。

■研修会は①基礎編、②実務編[応用編]、③地域編の三編から成り立っています。テキストの主な内容(基礎編、実務編[応用編])は以下のとおりです。地域編の内容は各事務所協会によって異なります。

基礎編	②実務編[応用編]	
I. 建築士及び建築士事務所の倫理と責務 II. 建築士事務所の運営管理 1. 建築士事務所の開設等 2. 建築士事務所の維持管理 III. プロジェクト業務の運営管理 1. 業務委託契約 2. 設計及び工事監理等の実施 3. 外注委託の管理 IV. 建築士事務所の労務・財務管理 1. 労務管理 2. 原価管理と財務管理	I. ニーズの変化と持続的経営のための対応 1. 設計者選定について 2. 設計・工事監理業務の基本的な流れの変化 3. 新築中心から維持管理・リノベーション重視へ 4. 設計基準の多様化とその対応 5. 安全・安心への取り組み 6. 環境への対応 7. ユニバーサルデザインへの対応 8. イノベーションの可能性 9. 景観まちづくり 10. その他の重要情報	II. 建築士事務所のリスク 1. リスクへの対応の必要性 2. 建築士事務所の業務継続と継承問題 3. 苦情解決業務の事例に学ぶ 4. 建築士事務所賠償責任保険の事故例に学ぶ 5. 係争事例、判例に学ぶ 6. 懲戒処分・監督処分の事例に学ぶ 7. 情報セキュリティ問題の事例に学ぶ

■平成26年6月27日に公布された「建築士法の一部を改正する法律案」(施行日:公布後1年以内)において、管理建築士の責務が明確化されました。

■これまでの相次ぐ建築士法の改正により開設者と管理建築士の役割・責任は一段と重くなり、最新の技術や法制度への精通が業務委託者(建築主)から求められています。

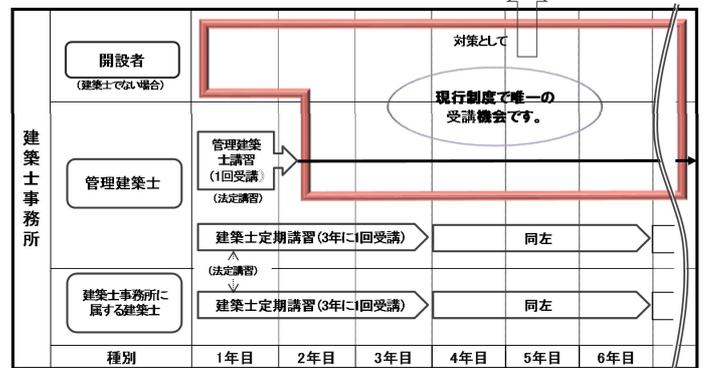
■開設者及び管理建築士の方は5年ごとの事務所登録の更新の機会に合わせて本研修会を定期的に受講されることをお勧めします。

※尚、本研修会は法定講習(建築士法第22条の2に基づく「建築士定期講習」、及び同第24条第2項に基づく「管理建築士講習」ではありません。

建築士法第27条の2第7項に基づく「開設者・管理建築士等のための建築士事務所の管理研修会」の位置付け(イメージ)

定期的な学習のため、本研修会の受講が有効

開設者・管理建築士としての継続的な資質の維持向上
【基礎編】
・建築士事務所に関する法令・品質管理等の重要事項
【実務編[応用編]】
・建築士事務所の持続的経営やリスク等の実務関連事項



3

法律顧問弁護士による無料法律相談のご案内

正会員の皆様の業務に関する法律相談を無料でお受けいたしますので、お気軽にご相談ください。尚、ご相談の際は、電話にて、まず（一社）福岡県建築士事務所協会の会員であることを伝えてから、依頼内容をお話してください。

- 法律顧問弁護士 矢野間 浩司 氏
宮崎市旭1-7-15MRKビル2F
TEL:0985-65-8800 FAX:0985-65-8822
- 相談対応業務 正会員の業務に関連する法律相談及び助言
- 相談方法 電話、FAX、電子メールなどによる対応。
- 相談費用 無料



4

女性部会より「久留米 城島酒蔵びらきと建物見学会」のご案内

今年度新たに発足しました、女性部会より見学会のご案内です。女性の会員を対象に会員間の親睦と交流のため「久留米 城島酒蔵びらきと建物見学会」を企画いたしました。新建築と歴史的建造物を見学し見聞を広めたいと思います。試飲のためのマイちょこを持ってご参加下さい。

- 日 時 平成27年 2月 14日(土)10:00~16:00(予定)
- 集合場所 JR筑後船小屋駅 10:00(予定)
- 見学場所 九州芸文会館、大川市建具・古民家見学、城島酒蔵びらき(予定)
- 会 費 2000円(集合場所までの交通費は各自)
- 申 込 み メール、FAXにて申し込み頂きます。まずは事務局までご連絡ください。

■ 福岡県建築士事務所協会 092-473-7673



福岡県内高等学校生並びに専門学校生による 建築設計競技 結果報告

平成26年度 福岡県内の高等学校生並びに専門学校生による建築設計競技が開催されました。

今年度は高等学校の部5校より計56点、専門学校部の部4校より計92点のご応募を頂き、審査会にて選ばれた知事賞、他入賞者の表彰式が11月18日にアクロス福岡1F円形ホールにて行われました。
また11月18日～21日の期間、福岡市役所1階市民ロビー多目的ホールにおいて作品の展示会が開催されました。



経 過

平成26年	6月25日	関係校へ課題を通知、応募期限を9月19日とする
	9月19日	提出校、高等学校の部5校56点、専門学校部の部4校92点
	10月10日	福岡建設会館において、13時30分より審査会を行い各賞決定
	11月18日	アクロス福岡1階円形ホールにおいて表彰式開催
	11月18日～11月21日	福岡市役所1階市民ロビー多目的ホールにおいて作品展示会開催

審査委員名

- 河野泰治(一社)福岡県建築士事務所協会顧問
- 福岡県建築都市部長
- 福岡県教育長
- 北九州市建築都市局長
- 福岡市住宅都市局長
- (一財)福岡県建築住宅センター理事長
- (公社)福岡県建築士会
- (公社)日本建築家協会九州支部長
- (一社)福岡県建築士事務所協会

協 賛

- (一財)福岡県建築住宅センター

後 援

- 福岡県
- 福岡県教育委員会
- 北九州市
- 福岡市
- (公社)福岡県建築士会
- (公社)日本建築家協会九州支部

参加者の皆さまへの御礼

まずは、本年度の課題選定にあたり検討を重ねた結果、募集案内が遅れ、関係各校にご負担をお掛けしましたことをお詫び申し上げます。

今回の課題は、ここ数年頻繁に発生している自然災害に備えるための仮設住宅、コミュニティ施設であり、難しい課題で且つ例年より応募期間が短いということもあり応募者が減るのではと懸念していましたが、先生方の熱心なご指導、学生、生徒の皆様の努力により昨年を上回る応募校、応募数をいただき深く感謝申し上げます。

応募いただいた作品は、創作意欲があふれた素晴らしい作品ばかりで、審査会でも多くの時間を費やし、議論が交わされ、厳正な審査のうえ優秀賞を決定いたしました。お忙しい中熱心に審査をいただきました審査員の皆様方に厚くお礼を申し上げます。

今後も当建築設計競技を通じて、優秀な建築士の育成に努め、建築業界の発展に貢献していきたいと思っております。皆様方のご指導、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

なお、今年も福岡市のご好意により福岡市役所1階ロビーにおいて優秀作品の展示を行っております。是非ご覧いただけますようご案内申し上げます。

一般社団法人 福岡県建築士事務所協会 教育・研修委員会
委員長 田中 浩

平成26年度 課題

自然災害時に対応できる応用仮設住宅

計画趣旨

東日本大震災から早や3年が経過した。復興に向けて本格的に動き出したが、ここに来て未だに仮設住宅で生活を余儀なくされている状態でもある。加えて4月に東京を襲った震度5の揺れや南海トラフ地震の想定等震災の予防や対策に事欠かない。又豪雪や豪雨などの自然災害も最近は特に頻発している。

更に自然災害によるライフラインの被害も今後の課題として捉える必要がある。

そこで、とりわけ高齢者・障害者などの弱者に対しても快適な「自然災害一般に備えての仮設住宅」の計画を求める。

勿論被災地である故、設備的にも充分配慮して欲しい。

計画条件

- 1) 敷地《自然災害後整備された場所、平坦で条件なし》
 - 面積……………指定なし（形状自由）
 - 用途地域……………指定なし
 - 前面道路……………幅員8m（方向自由）
 - その他……………上下水道完備。電気引込有、但しソーラー設定。雨水の利用を考慮。
- 2) 建物
 - 用途……………戸建及び長屋形式の仮設住宅
 - 延床面積……………20㎡、40㎡、60㎡夫々の戸建（計3棟）と夫々を組み合わせた長屋（5戸）1棟
 - 構造……………木造平屋建
 - 家族構成……………特に規定しない。
 - 注意事項……………コンセプトは明確にすること。
- 3) 提出図面
 - 用紙……………当協会配布のケント紙（B2サイズ）1枚を使用し、横書きとする。
 - 提出内容……………設計コンセプト：課題にふさわしい名称をつける。
 - ・配置図（1/300）：配置は自由
 - ・立面図（1/100）：2面
 - ・外観パース：敷地内の計画をすべて含む。
 - 断面図（1/100）：1階平面図は配置図兼用可
 - 条件……………必ず手書きとする。CGは不可、模型写真の添付は自由、着色は自由。図面には必ず面積表、方位、縮尺、寸法及び寸法引出し線、室名を正しく記入すること。

応募校と
応募数

有明工業高等専門学校（1年～3年）	作品数	36点
浮羽工業高等学校	〃	7点
戸畑工業高等学校	〃	3点
博多工業高等学校	〃	4点
福岡工業高等学校	〃	6点
計 5校		56点

個人賞

● 知事賞	福岡工業高等学校	2年	桑島直央
● 福岡県教育委員会賞	福岡工業高等学校	2年	佐藤匠
● (一財)福岡県建築住宅センター理事長賞			
● 会長賞	有明工業高等専門学校	3年	宮崎由依
● (公社)福岡県建築士会会長賞	博多工業高等学校	3年	河野真緒
● (公社)日本建築家協会九州支部支部長賞	福岡工業高等学校	2年	高田好美
● 金賞	有明工業高等専門学校	3年	尾上朋洋
● 銀賞	有明工業高等専門学校	3年	野口和幹
● 銅賞	博多工業高等学校	3年	村上雅成
● 〃	博多工業高等学校	3年	森本隆聖
● 〃	有明工業高等専門学校	3年	関本希望
● 佳作	戸畑工業高等学校	3年	津野真衣奈
● 〃	浮羽工業高等学校	3年	野口義喜
● 〃	有明工業高等専門学校	3年	宮本浩幸

(敬称略/順不同)

平成26年度 建築設計競技 専門学校 の 部

平成26年度 課題

自然災害時に対応できるコミュニティセンター

計画趣旨

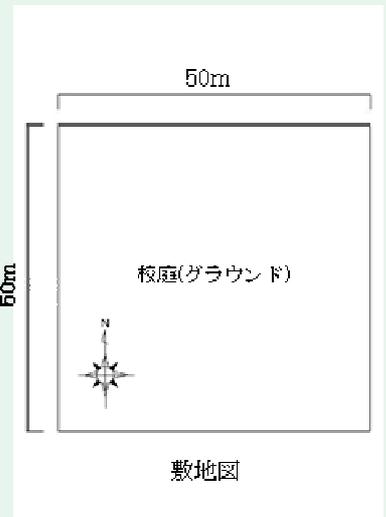
東日本大震災から早や3年が経過した。復興に向けて本格的に動き出したが、ここに来て未だに仮設住宅で生活を余儀なくされている状態でもある。加えて4月に東京を襲った震度5の揺れや南海トラフ地震の想定等震災の予防や対策に事欠かない。又豪雪や豪雨などの自然災害も最近は特に頻発している。

更に自然災害によるライフラインの被害も今後の課題として捉える必要がある。

そこで新たな生活再建を目指す中で相互に「交流しつつ楽しく暮らす場」と「情報センター」、「各種ケアを行う場」等が合体した施設、いわば仮設のコミュニティセンターを計画して下さい。

計画条件

- 1) 敷地
 - 面積……………2,500㎡
 - 用途地域……………指定なし
 - 前面道路……………車道8.0m
 - その他……………上下水道完備。電気引込有、但しソーラー設定。雨水の利用を考慮。敷地は仮設住宅用地の一角。
- 2) 建物
 - 用途……………コミュニティセンター
 - 延床面積……………300㎡ (±10%)
 - 構造……………木造又は鉄骨造平屋建
 - 所要室……………事務室【10㎡】
 相談室【20㎡ (2室：育児室、保健室等)】
 多目的ホール 【100㎡】 研修室【40㎡】
 調理室【40㎡ (食材庫等)】 和室【20㎡】
 ※ 尚その他所要室 (玄関ホール、廊下、便所等)、面積は適宜とする。
 - 屋外計画……………自由
- 3) 提出図面
 - 用紙……………当協会配布のケント紙 (B2サイズ) 1枚を使用し、横書きとする。
 - 提出内容……………・設計コンセプト：課題にふさわしい名称をつける。
 ・配置図 (1/300)：敷地全体 (長屋敷仮設住宅を想定し記入する。)
 ・平面図 (1/100) ・立面図 (1/100)：2面
 ・断面図 (1/100) ・外観パース：敷地内の計画をすべて含む。
 - 条件……………模型写真の添付は自由、着色は自由。図面には必ず面積表、方位、縮尺、寸法及び寸法引出し線、室名を正しく記入すること。



応募校と 応募数

麻生建築&デザイン専門学校	作品数	26点
九州職業能力開発大学校	"	11点
福岡建設専門学校	"	48点
福岡デザイン専門学校	"	7点
計 4校		92点

個人賞

● 知事賞	麻生建築&デザイン専門学校	1年	田川裕也
● 福岡県教育委員会賞	福岡デザイン専門学校	1年	宏林祐希
● (一財)福岡県建築住宅センター理事長賞	福岡デザイン専門学校	2年	角桃子
● 会長賞	福岡デザイン専門学校	1年	稲永優輝
● (公社)福岡県建築士会会長賞	福岡建設専門学校	1年	石井友子
● (公社)日本建築家協会九州支部支部長賞	福岡建設専門学校	2年	板並佐織
● 金賞	麻生建築&デザイン専門学校	2年	江藤大明
● 銀賞	福岡建設専門学校	2年	山本竜徳
● 銅賞	福岡建設専門学校	1年	辻知波
● "	麻生建築&デザイン専門学校	1年	平田純樹
● 佳作	福岡建設専門学校	2年	今村大樹
● "	九州職業能力開発大学校	2年	豊永香代
● "	麻生建築&デザイン専門学校	2年	梁瀬直紀

(敬称略/順不同)

■ 高等学校の部 課題

自然災害時に対応できる応用仮設住宅

■ 専門学校の部 課題

自然災害時に対応できるコミュニティセンター

東北大災害の復興に取り組んでいる中で、広島豪雨災害や御嶽山火山噴火などの災害に見舞われ、自然災害が日常生活に入り込んでいることを強く自覚させられた。身近な福岡県内でも2005年の福岡西方沖地震や2012年の九州北部豪雨の被害は甚大で、玄界島や八女市に応急仮設住宅が建てられた。地域社会での生活空間のデザインに関わる私たちは、被災者の生活空間の確保という課題を通して自然災害への対応が求められている。大きな被災直後の緊急避難・一次避難の後、復興段階の生活に至るまでの仮の住まいを「快適な住宅地」とする提案を今年の課題とした。

東日本大震災とその復興過程にマスメディアなどを通して接してきた、建築に関わろうとする若い人たちの感性やメッセージがどのような形になるのかに注目した。

仮設住宅は、緊急避難施設から1日でも早く移転し、2年以内をめどに居住する、まさに仮の住宅である。工期が短いことと量産が最優先されたプレファブ工法・建築で、徐々に寒暑対策、遮音、バリアフリーなどの建築性能の向上が図られてきた。東日本大震災では、総戸数 52,593戸のプレファブの内、手がまわらなかったなどの理由によって、1割を超える6,829戸の木質系の応急仮設住宅が建てられた。地域経済、林業・木材利用振興などに寄与する木造仮設住宅は、木のぬくもりや結露・雨漏りの解消などが好評のようだ。初期の段階では、応急仮設住宅建設と同時に、被災住民の話し合いの場の確保も大きな課題であった。しかし仮設住宅団地での暮らしが続く中で、多用途の集まり、ケアの場、いわばコミュニティの場の重要性がはっきりとしてきた。2004年の中越地震以降、仮設住宅のコミュニティの拠点として、仮設住宅50戸に1箇所の集会所、30戸に1箇所の談話室が設けられるようになった。

3タイプの戸建てと5戸1棟の長屋で構成される「高齢者・障害者などの弱者に対しても快適な自然災害一般に備えての仮設住宅」の課題は、住宅の材料・施工、個々の住宅計画と集合の計画を求めたもので、高校生にとっては手ごわい課題である。とりわけ、集まって住むことの意味を改めて問うている。専門学校生の課題は住環境の構想、構成力をも試した「仮設のコミュニティセンター」。ともすれば無味乾燥な仮設住宅地に、生気に満ちたリアリティあるセンターの提案が期待された。

応募は高校56作品(昨年と同数)、専門学校92(78作品)。審査は福岡県建築士事務所協会の審査委員10名による一次審査で設計・製図の基本と応募要件をチェックし、各40作品、50作品を二次審査対象として選出した。二次審査は、県の建築都市部や北九州市・福岡市などを含む県内の建築団体の役員9名の特別審査委員を加えた24名によって、審査員の推薦数の多い上位作品を対象に協議によって受賞作品を決定した。

高等学校の部 総評

ふれあい、つながり、共同し合う建築空間の仕組み作り春意欲的な提案が多く見られた。また、身近な課題としてコミットする姿勢にも共感を覚えた。良く練られた構想と美しくバランスの良い仕上がりの作品が多く、優劣をつけ難く、銀賞や銅賞作品も秀作である。惜しくも選外になったが、音楽スペースのある「心がかよいう仮設住宅」(有明高専、永尾夫十里)なども好感が持てる作品である。

専門学校の部 総評

規格化された柱や床、壁などの木質材(一部軽鉄)のプレファブによる単体建築としてのセンターではなくて、単体建築・機能が多様につながり、広がりのある総体としてコミュニティセンターとなるという提案が多かった。美しく力強く、オリジナリティに溢れた印象に残る提案に満ちている。ともすれば、工期が短ければ無味乾燥となるのも致し方ない、という現状への疑問が込められているように感じられた。

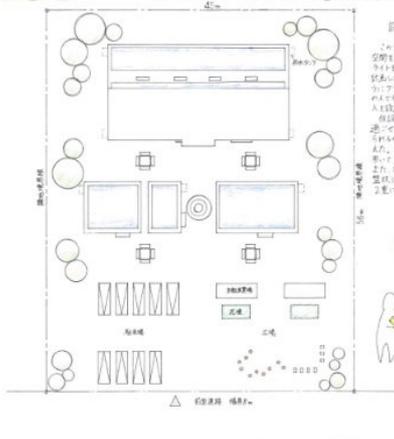
受賞作品紹介

— 高等学校の部 —

知事賞

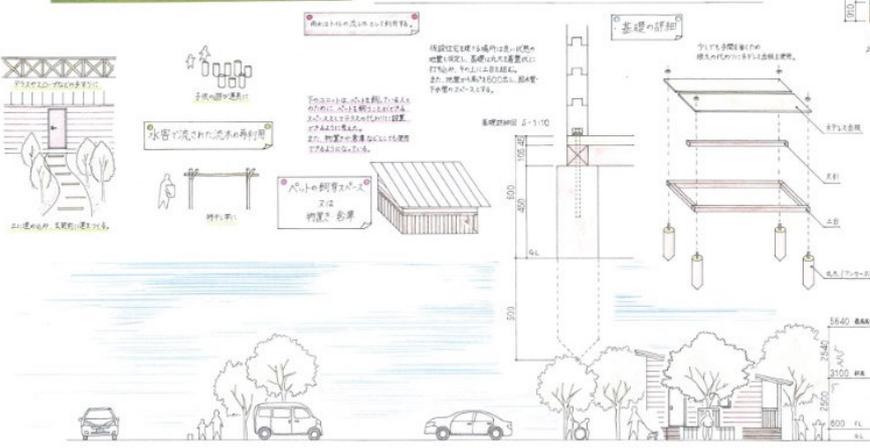
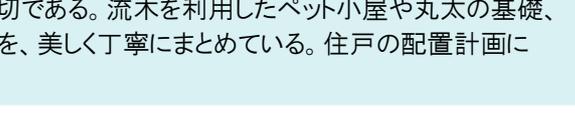
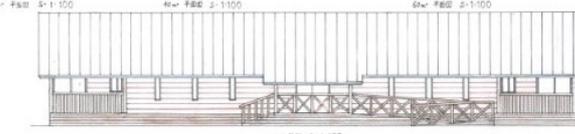
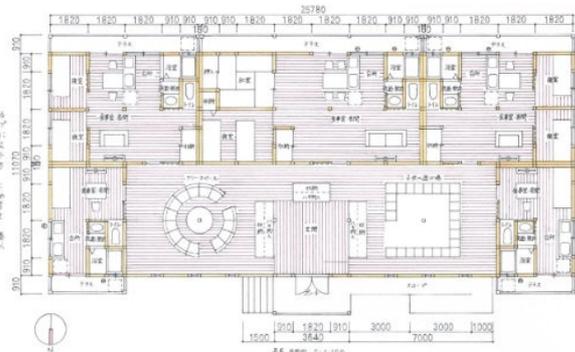
《 福岡工業高等学校 2年 》 桑島 直央

Sun Shine House ～ 光あふれる仮設住宅 ～



設計上の

この仮設住宅は居住者それぞれが自分の空間をつくりたいと考え、モジュールユニットを自由に動かすことで、個性に合わせた住居をつくりたいという希望を踏まえ、この建築設計コンペに応募しました。居住者それぞれが自分の空間をつくりたいという希望を踏まえ、この建築設計コンペに応募しました。居住者それぞれが自分の空間をつくりたいという希望を踏まえ、この建築設計コンペに応募しました。



階層	25m	40m	60m	基礎
床面積	23.18	46.37	69.56	321.80
延床面積	19.87	39.75	59.62	285.38

講評

‘Sun Shine House ～光あふれる仮設住宅’のモジュールやプランタイプも適切である。流木を利用したペット小屋や丸太の基礎、住戸ユニットの構成、玄関ホールとフリースペースの一体的な共同空間の提案を、美しく丁寧にまとめている。住戸の配置計画にもうひと工夫欲しい。

受賞者コメント

私は2年生で建築設計競技に初めて応募しましたが、知事賞という素晴らしい賞を頂くことができ、とても嬉しく思います。
初めてのコンペ制作は、わからないことが多く完成が締め切りギリギリになってしまうなど、大変なこともありましたが貴重な経験ができました。
今回の経験を生かし、これからの学校生活やコンペ制作に、より力を入れ学んでいきたいと思えます。



福岡県立福岡工業高等学校
建築科2年 桑島 直央

受賞作品紹介

— 専門学校の部 —

知事賞

《 麻生建築&デザイン専門学校 1年 》 田川 裕也



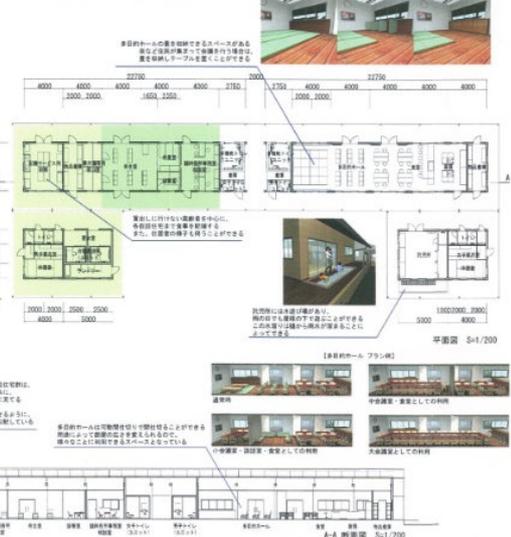
"Re"スタバ 三"Re"一体の集会所

自然災害によって、人は多くの不安を抱えることになる。万全の体制で街の復興に臨むには、苦・良が一体となり、避難住民の1人1人の身体・心の不安を取り除いていくことが必要である。

街の未来を考えるために、今の自分を万全にする。避難住民のためのリスタート(再出発)の場所。それがリスタバである。

建築概要

種別	防災施設	平屋建
敷地面積	2500㎡	
延床面積	197㎡	
建築面積	450㎡	
容積率	7.7%	
延床率	31.75%	



講評

広場を囲んだ浴場や託児、介護・診療、食堂・多目的ホールなどの4つの棟で集会所空間が構成される。多目的ホール棟を可動間仕切りとするなど、提案のポイントは、仮設住宅地に建てられた集会所は、「避難期、仮設期、復興期によって、その役割を変えていくべきである」との主張にある。仮設住宅群を含めたパースは、全貌をよく表現している'Re'スタバ というタイトルは理解しづらい。



受賞者コメント

この度は知事賞という大変栄誉ある賞を頂き、誠に光栄に思います。今回、「自然災害時の仮設住宅における集会所」という課題で、被災者が日常を取り戻すために必要なリスタートの場所「リスタバ」を提案いたしました。

自然災害のことを調べていく中で、仮設住宅が様々な問題を抱え、被災者の立場を知ったことは、一人の人間として大きな課題となりました。そして、避難から復興までの道のりを共に歩んでいけるような集会所の提案をできたことは、貴重な経験となりました。

今回の競技設計の制作にあたり、ご指導いただいた方々に厚くお礼申し上げます。

麻生建築&デザイン専門学校
建築学科(夜間)1年 田川 裕也

6

第10回常任理事会のご報告

日時 平成26年12月11日(木) 13:30~15:15 **会場** (一社)福岡県建築士事務所協会 事務局
出席者 会長、副会長、常任理事、事務局 11名参加

1. 協議事項

- ①第5回理事会の進行、説明担当者、議題の確認について
- ②日事政研「建築士事務所政経フォーラム」会費納入について
- ③中間収支会計状況について
- ④福岡県建築登録センター特別会計について
- ⑤ロングライフビル推進協会との共催によるビデオセミナーの実施について
日事連からロングライフビル推進協会との共催によるビデオセミナーの実施についての依頼がなされている旨説明がなされた。協議の結果、事業委員会で今年度中の講習の開催について検討いただくことが決定した。
- ⑥「住まいの健康診断」普及促進等への協力依頼について
(一財)福岡県建築住宅センターより「住まいの健康診断」普及促進について、本部、支部でのポスターの掲示、リーフレットの配布及び協力検査会社を会員建築士事務所から選定する際の助言等の協力依頼がなされている旨説明がなされ、協議の結果協力していくことが承認された。
- ⑦ホームページバナー広告料について
- ⑧関係団体講習会、協賛、後援依頼について
- ⑨事務局冬季休暇について

2. 報告事項

- ①日事連、九州・沖縄ブロック協議会関係
 - ① 改正建築士法の施行にあたり業務報酬基準に準拠した契約の徹底に関する共同要望の実施について
 - ② 九州・沖縄ブロック協議会会長会議、事務局会議の開催について
第2回九州・沖縄ブロック協議会会長会議及び事務局会議が下記の日程、場所で開催される旨説明がなされた。
 - 会長会議 平成27年2月17日(火)福岡建設会館304会議室
 - 事務局会議 平成27年1月24日(土)福岡建設会館701会議室

3. その他

- ①次回日程について
 - ① 関係団体新年挨拶廻り
平成27年1月7日(水) 9:30~
(一財)福岡県建築住宅センター → 福岡県 → 国土交通省九州地方整備局の順に挨拶廻りを行う。
 - ② 常任理事会
平成27年1月7日(水) 12:30~ 八仙閣本店

北九州支部からのお知らせ

12月 定例幹事会のご報告

日 時 平成26年12月9日(火)18時～18時30分

場 所 一樺小倉なごみ店

出席者 林支部長、高崎、小野、戸村、山口、佐竹、吉永、佐々木、望月、久松、藤本

議 事

- ▶ ① 防火戸調査の進捗状況確認
- ▶ ② 児童絵画展 作品返却状況確認
- ▶ ③ 来年1月9日開催の6団体合同新年賀詞交歓会の件

以上林支部長より状況報告がありました。

冬の例会の開催

上記定例幹事会の後、18時30分より冬の例会が開催され、林支部長挨拶のあと各賛助会員の挨拶をいただいて会員18名、賛助会員18名の出席のもと盛会に開催されました。
お世話して頂いた総務委員会の皆様ありがとうございました。



筑豊支部からのお知らせ

研修会のご報告

下記の内容で工場見学及び研修会を行いました。



平成26年12月10日(水)

多数参加者にて

- トヨタ自動車九州 工場見学 (宮若市)
- 九州住友ベークライト(株) 研修・工場見学(直方市)

2カ所の工場見学及び研修会を行ないました。



第5回 幹事会のご報告

日 時 平成26年12月10日(水) 18時00分

場 所 直方市 食事処 樹

- 議 題
 - ▶ 本部報告
 - ▶ 医療・福祉施設防火戸等緊急調査業務 報告
 - ▶ 慶弔規定について



第6回 幹事会の予定

日 時 平成26年1月21日(水) 予定

場 所 直方市 食事処 樹

- 議 題
 - ▶ 平成27年度通常総会(本部)について
 - ▶ 平成27年度通常総会(筑豊支部)について
 - ▶ その他



福岡支部からのお知らせ

福岡支部 三役会・役員会開催のご報告

下記のとおり、第6回三役会・第4回役員会を開催いたしました。

■日 時……………平成26年12月9日(火) 三役会 15:00～
役員会 16:15～

■場 所……………三役会 建設会館5階事務局
役員会 建設会館3階304会議室

■議 題…………… 1. 入退会について

2. 各委員会活動

□総務・財務委員会

●第1回総務財務委員会開催報告

□会員委員会

●平成26年度福岡支部忘年会について

●11/25 第1回建築倶楽部新年の集い準備会議報告

●平成27年建築倶楽部新年の集いについて

□事業委員会

●10/28 建築関連法規の改正等講習会開催報告

●11/25 建築基準法適合状況調査のためのガイドライン説明会開催報告

□木造研究委員会

●木造研究委員会講演会開催報告

3. 平成26年度建築士事務所キャンペーン開催報告

4. 秋の褒章受章者報告

5. 中間会計監査報告

6. 会費未納状況報告

7. 県本部よりの報告

□県本部中間会計監査報告

□防火戸調査中間報告

□色彩ガイドラインワークショップについて



「福岡建築倶楽部新年の集い」のご案内

早いもので、7団体で共催する年頭恒例の合同新年会のご案内をする時期になりました。今年も建築倶楽部合同の新年の集いを下記のように計画しています。例年通り、堅いあいさつは少しにして和やかに、美味しい料理とお酒で新年会を盛り上げましょう。

みなさまお誘い合わせのうえ、ぜひ多数のご参会の程を幹事一同お待ちしております。

日 時 平成27年1月16日(金) 18時30分～

会 場 タカラホテル福岡
〒810-0004 福岡市中央区渡辺通2-7-21 TEL. 092-731-1661

問 合 先 (一社)福岡県建築士事務所協会福岡支部事務局
TEL 092-473-5506 FAX 092-473-7676



福岡支部忘年会を開催いたしました



平成26年12月16日(火) 福ビル屋上の「磯貝ちゃんこのかきごや」において福岡支部忘年会を開催いたしました。雪がちらつく中で、2014年最後の行事であり、正会員・賛助会員あわせ総勢70名近く参加がありました。



岩本支部長の挨拶の後、井上会長の乾杯で会は始まりました。締めは、賛助会の吉元会長の博多手一本で盛会に終了いたしました。年末の忘年会疲れの中、ご参加いただきました会員の皆様、ありがとうございました。本年も去年以上、正会員・賛助会員の力で会が盛り上がるよう会員の皆様宜しく願いたします。



会員委員長 和田正樹
(記：新竹)

県南支部からのお知らせ

賛助会員との懇親会のご案内

1/16(金)広報・渉外委員会担当により、賛助会員との懇親会を開催します。
会員の皆さん、賛助会員の皆さんとの親睦を深めて頂く為に企画しております。
ご多忙中とは存じますが、是非ご参加下さい。

日 時	………… 平成27年1月16日(金) 18:30~
場 所	………… プリヂストーンクラブ
会 費	………… 1人2,000円 (2人目以上は、3,500円)

※幹事の方は、午後5時30分~役員会を行いますので宜しくお願い致します。



8

会員動静

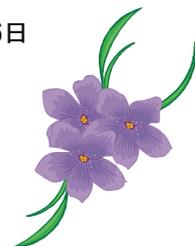
新入会員のご紹介

事務所名	花田環境設計 一級建築士事務所	福岡支部にご入会されました
会務代表者	花田 祐二	
所在地	〒812-0038 福岡市博多区祇園町6-27-803	
TEL / FAX	TEL/092-282-8765 FAX/092-282-8766	

9

訃報

当協会の筑豊支部会員である(株)曾根設計事務所 曾根 安彦 様が永眠され、平成26年12月26日
葬儀が執り行われました。長らく協会の発展にご尽力頂きましたことを感謝申し上げます。
ご冥福を心よりお祈りいたします。





今月は

常任理事(総務)

西洋一さん(株Gデザインアソシエイツ)



編です

新年明けましておめでとうございます。

—— “歳寒三友” “不撓不屈” “一源三流” ——

新年を迎えて「座右の銘」としてふさわしい、3つのキーワードをご紹介します。それらはまさに、先人達が残した、時を超えた揺るぎない「普遍の真理」です。



● 《歳寒三友(さいかんさんゆう)》

歳寒三友とは、松竹梅に捧げる賛辞である。風雪や厳寒に耐えながら、年中緑を保ち、また長寿でもある松の持久力。屈することなくまっすぐ伸びてゆく竹の成長力。百花にさきがけて早春に開花し、ふくいくたる香を放つ梅の生命力。そのどれもが素晴らしく、またそんな苦境の中で友情を育む事ができる友人は何ものにも換えがたい。そして、この言葉は、いかなる困難にも耐え忍ぶ志操堅固な人たちの友情のたとえとなった。

*1

● 《不撓不屈(ふとうふくつ)》

一道一業を拓き、興した人に例外なく備わっているものがある。どんな困難に遭っても怯まず、挫けない——不撓不屈の心である。我意を通すだけでは不撓不屈にはなれない。何か大きなもののために自分を委ねた時、はじめて不撓不屈の境地に至る——先人の足跡から学ぶものは多い。

最後に、これも不撓不屈の人、松下幸之助氏の言葉。「成功するまでやる。成功するまでその志を変えない。極めて簡単なことだけれど、往々にしてそれができない」 *2

● 《一源三流(いちげんさんりゅう)》

道をつくった人は、道をつくろうと思った人である。その思いを強く熱く反復した人である。行ったり、来たりする中で道はできる。一回通っただけでは、道はできない。この事は、歴史が教えている。「一源三流」という古語がある。「一源」は、誠、誠実である。この誠、誠実を源にして、一、汗を流す。二、涙を流す。三、血を流す。

すなわち、「三流」である。汗を流すとは勤勉、努力すること、一心不乱に打ち込むことである。涙をながすとは、降りかかる困難に耐えて人しれず涙を流す、あるいは達成の喜びに感動の涙を流すこと。血を流すとは命を込める、命をかけることである。「一源三流」は人をつくり、道をつくる万古不易(ばんこふえき)の原理である。 *3

自分(たち)には、自分(たち)に与えられた道がある
 広い時もある せまい時もある
 のぼりもあれば くだりもある
 思案にあまる時もあろう
 しかし 心を定め 希望をもって歩むならば
 必ず道はひらけてくる
 深い喜びも そこからうまれてくる*4

*1「歳寒三友」(zuzu creations) *2「不撓不屈」(致知) *3「道をつくる」(致知) *4「道」(松下幸之助)

—昨年を想えば、3年ぶり「6回目の日本一」に輝いた、秋山監督(6年間就任)率いるソフトバンクホークス、ソチ五輪で「金」に輝き、さらに全日本V3を成し遂げた羽生結弦、24歳の若さでツアー・ファイナル「ベスト4」に昇りつめた錦織圭、大鵬に並ぶ「32回目の優勝」を成し遂げた白鵬、ディズニーを解雇されながらも「アナと雪の女王」を完成させたジョン・ラスター監督、地球誕生の謎に加えて、海の水の起源や生命の原材料となった有機物の起源を探る小惑星探査機「はやぶさ」(250人の科学者と300社の英知の集結)、「21世紀の光」と呼ばれる青色発光ダイオード(LED)を開発し、「ノーベル物理学賞」に輝いた赤崎氏、天野氏、中村氏の3氏、そのどれもが掛け替えの無いことであり、深い「感動と勇気」を私達に与えてくれました。

今年も数多くの「偉業」が歴史に刻まれることを願いつつ、さらに皆様方に新しい「息吹き」と止めど無い「活力」がみなぎることを期待して止みません。(引用ばかりで失礼致しました。)

『福岡市 予定建築物の看板』トタン仕様の販売終了のお知らせ

これまで当協会で購入しておりました、福岡市予定建築物の看板につきまして、トタン仕様のお取り扱いを終了させて頂くこととなりました。今後はターポリン地仕様のみのお取り扱いとなります。誠に申し訳ございませんが、皆さまには何卒ご理解いただきますようお願い申し上げます。

仕 様	一般価格（税込）	会員価格（税込）
ターポリン地（木枠付き）	7,764円	6,764円
ターポリン地（木枠なし）	5,388円	4,388円

事務局より

明けましておめでとうございます。本年もどうぞ宜しくお願い致します。皆さまはどのような年明けを過ごされましたでしょうか。福岡では元旦に雪も降り、冬らしい幕開けとなりました。寒くて外に出るのが億劫…という方も多いかと思えます。そんな「冬」の語源については「冷ゆ(ひゆ)」「震う(ふるう)」、はたまた寒さが威力を「振う(ふるう)・振ゆ(ふゆ)」が転じたという話も。一方で「殖ゆ・増ゆ(ふゆ)」という説もあり、こちらは寒さの中で動植物がじっと生命力を蓄えているイメージですね。

さて、とりわけ一番寒いと言われているのが1月20日の**大寒(だいかん)**。これは「二十四節気」と呼ばれる、中国で生まれた季節の区切り目のうちのひとつです。一年を春・夏・秋・冬の四季にわけ、さらに四季を6期に分けた24の期間の始まりの日で、他には**立春**や**冬至**等日本でも馴染み深いものがあります。実際に日本で一番寒いのは2月の初旬頃ですが、これは二十四節気が寒冷大陸で生まれた暦である為、日本の気候と少しずれたまま人々の生活に根付いたようです。

この時期には寒い時ならではの行事が目白押し。いくつかご紹介しましょう。

まずは「**大寒みそぎ**」。地域によりますが、大寒から3日間行われ、ふんどし・白装束で冷たい水を浴びて無病息災を祈願する禊(みそぎ)です。山口県春日神社のものが有名です。

また、一番親しまれている行事は**節分**でしょう。節分は大寒の最後の日、立春前日の2月3日に行われるもの。昔は立春が一年の始まりとしてとらえられていたため、節分は現在でいうところの大晦日のようなものです。余談ですが奈良県の**金峯山の節分会**には節分で追われた全国の鬼が集まるそう。「**福は内、鬼も内**」と掛け声をかける珍しい豆まぎで、鬼に豆を投げると降参して仏法に帰依すると言われていました。



そしてこの時期は寒さを利用して食の仕込みが行われます。寒中(寒の内)に汲んだ水を「**寒の水**」といいますが、これを使って仕込まれた凍り豆腐、寒天、酒、味噌などは腐らないと言われています。川や湖、井戸水が表面で冷やされる時に不純物も一緒に下層へ沈むため、真冬の水には雑菌が少ないとか。昔は寒の水を容器に汲み、納戸に保管する家庭も多かったそうです。

変わったところでは大寒の日に産まれた卵を縁起物として「**大寒卵**」と呼びます。寒中に卵を食べると金運が上がると言われ、特に大寒卵を食すと1年間お小遣いに困らないそうですよ。**寒中(寒の内)**は**小寒～大寒**の終わりまで。この季節を乗り切ればもうすぐ春ですね。



記事掲載等のお問い合わせについては(一社)福岡県建築士事務所協会 担当者までご連絡ください。

【 TEL:092-473-7673 / FAX:092-473-7278 ■ E-mail: info@f-aa.jp 】